

中野区次世代育成支援行動計画（後期計画）における 平成 26 年度事業実績（案）について

1 趣旨

「中野区次世代育成支援行動計画（平成 22 年 3 月後期計画策定。以下、「計画」という。）」に基づき、「子どもたちがのびのびと成長し、楽しく子育てができるまち」の実現に向けて平成 26 年度中に実施した施策・事業の内容、及び計画に掲げた個別目標の達成状況について地域住民が検証できるよう「中野区次世代育成支援行動計画平成 26 年度事業実績（案）」を作成したので公表する。

※この計画に基づく施策の実施状況については、次世代育成支援対策推進法第 8 条第 6 項において、市区町村は毎年、公表に努めなければならないと規定されている。

2 内容

計画の体系（4つの体系と 14 の取組み内容）に基づき、個別目標の達成状況をはかる成果指標と実施した主な事業の例を掲げた。

後期計画の 5 年目となる平成 26 年度事業実績は、成果指標 38 項目のうち、前年度と比較して向上した指標は 18 項目である。また、計画の最終年度である平成 26 年度目標を達成した指標は 12 項目である。

（1）体系 1 健やかに育つ子どもたち

前年度と比較して、子どもの健康状態や保護者の教育への安心感等を示す数値が向上しており、子どもが豊かで健康的に成長・発達するための環境整備が着実に進んでいる。

○安心して出産に臨めたと考える母親の割合は前年度の 76% から 5 ポイント減少し、71% となった。すこやか福祉センターにおいて、母親が妊娠中を健やかに過ごし、安心して出産に臨むことができるよう、引き続き妊娠期から出産後まで切れ目のない支援を行っていく。

○大きな戸惑いを感じることなく子育てをしている保護者の割合は前年度と同じ 94%、乳幼児健診に満足した保護者の割合は前年度と同じ 90% となり、いずれも高い成果を維持している。子ども家庭支援センターとすこやか福祉センターの連携を強化し、地域で安心して子育てを行えるよう支援を充実する。

（2）体系 2 多様な援助に支えられる子育て家庭

前年度と比較して、子育てに孤立感を感じている乳幼児の保護者の割合などの数値が改善された。

○子育てに孤立感を感じている乳幼児の保護者の割合は前年度の 21.1% から 4.3 ポイント改善し、16.8% となった。引き続き子育てに関する相談やサービスの充実とともに、すこやか福祉センターを中心とした地域の子育て支援の拠点機能をさらに強化し、子育てに関する十分な情報や学習の機会の提供など子どもと子育て家庭の支援に取り組んでいく。

(3) 体系3 安心して頼りになる環境で過ごす子どもたち

前年度と比較して概ね成果指標が向上しており、保育施策や子育て支援施策に一定の成果をあげることができている。

○子育てに精神的な疲れを感じる乳幼児の保護者の割合は、前年度の10.5%から1.7ポイント改善し、8.8%となった。今後も子育て家庭のニーズに応じたサービスが提供できるよう、子育て支援サービスの充実を図っていく。

○保育所の待機児童数は前年度の241人から69人減少し、172人となった。また、希望した保育サービスを利用できていると感じている保護者の割合は、前年度から1ポイント上昇し、82%となった。平成27年度から始まった、子ども・子育て支援新制度に合わせ、多様な保育・子育てサービスを体系的に整え、今後も保育需要への対応を進めていくとともに、窓口での情報提供、個々の家庭に応じたサービスをコーディネートできる体制を整備していく。

(4) 体系4 子育て・子育てにやさしいまち

前年度と比較して概ね成果指標が向上しており、子どもや子育て家庭が安心して過ごせるまちづくりが進んでいる。

○自発的に子育てにかかわり実践していると考えられる父親の割合は前年度から5.4ポイント伸びて52.5%となり、平成26年度目標を達成した。ワーク・ライフ・バランスのさらなる啓発の促進のため、今後もセミナー等の内容を充実させるとともに、事業主への両立支援推進のための事業をあわせて検討していく。

○子ども連れで外出しづらいと感じている保護者の割合は、前年度から2ポイント改善し、36.7%となった。自転車利用安全講習会等、自転車利用者のマナー・ルール啓発事業を拡充していくとともに、安心・安全に外出できる環境整備を進めていく。

3 公表の方法

子ども総合相談窓口や各すこやか福祉センター等関係窓口での閲覧及び中野区ホームページへの掲載を行う。

4 今後の予定

平成27年8月31日	子ども文教委員会報告
9月15日	実績公表（ホームページ掲載、関係窓口での閲覧）
9月20日	実績を公表した旨を区報に掲載（9月20日号予定）